

2017年度 第4回 鋼構造座屈小委員会議事録

1. 日時 平成30年3月13日(火)14時30分～17時00分
2. 場所 建築会館・本会会議室307号室
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫, 宇佐美徹, 倉田真宏, 木村祥裕, 田川浩, 竹内徹,
津田恵吾, 藤本益美, 松井良太(敬称略), 金尾伊織 (記録)
オブザーバー 佐藤篤司, 佐藤公亮 (下線は欠席者)

4. 配付資料

- 04-01 2017年度第3回鋼構造座屈小委員会議事録(案)
- 04-02-1 合成梁の変形性能の簡易評価手法 (宇佐美)
- 04-02-2 スタッドがスラブ付鉄骨梁の横座屈挙動に及ぼす影響 (宇佐美)
- 04-03 勾配曲げモーメントと圧縮軸力を受ける上フランジ連続補剛 H 形鋼梁の横座屈荷重と連続補剛材の水平・回転拘束効果 (木村)

5. 議事内容

資料04-01

- ・ 資料04-01に基づき前回議事録の確認を行い, 承認された。
- ・ 鋼構造座屈設計指針改定講習会に関して, 前主査・井戸田委員より報告された。
- ・ 鋼構造座屈設計指針の正誤表とりまとめるにあたり, 井戸田委員へ修正内容を報告する。

資料04-02

- ・ 資料04-02-1に基づき, 合成梁の性能評価手法に関して知見が紹介された。
- ・ 軸ばね, 回転ばねを用いた解析モデルによる解析的検討から, 境界条件および作用モーメントに対して提案された性能評価式について説明された。その提案式は, 弾性横座屈耐力, ウェブ辺長比, 幅厚比を用いた簡略式であり, 実験結果とも整合していることが示された。
- ・ スラブの有効幅など不明な点が多く残されていることが確認された。

資料04-03

- ・ 資料04-03に基づいて, 勾配曲げモーメントと圧縮軸力を受ける上フランジ連続補剛に関する知見が紹介された。
- ・ ダンパーなどによって圧縮軸力を受ける梁があり, 軸力の影響を無視できないことが説明された。
- ・ モーメント勾配および軸力が考慮されたエネルギー法による弾性横座屈評価式が提案されていることが説明された。

その他

- ・ 五十嵐委員より, 座屈崩壊型鋼構造部材性能評価WGの方針が説明された。関連して, 次回の改定に向けて, 座屈設計指針にも囲み本文を設けること, 全体的な鋼構造関連基規準のありかたについて議論した。
- ・ 次回以降も引き続き, 小委員会と意見交換をしながら作業を進めることを確認した。

6. 次回小委員会予定

WG : 2018年6月29日 (金) 13 : 00～14 : 30 建築会館
座屈小委員会 : 2018年6月29日 (金) 14 : 30～17 : 00 建築会館